



市民団体活動

NPO法人 津山国際交流の会

～やさしい日本語研修会～

3月27日、中央公民館で 来て・見て・知って 多文化共生講座「やさしい日本語研修会」を開催し、約20名が参加しました。

この講座は、NPO法人津山国際交流の会主催、津山市共催で多文化共生に関する様々なテーマで毎年開催しています。

今回は、「やさしい日本語」の考え方やその使い方を紹介しました。

「やさしい日本語」のポイントは、「はっきり言う」「最後まで言う」「短く言う」こと。参加者からは、「まちで困っている外国人を見かけたら、少し手助けできるかもしれないと思った。」などの声がありました。



城東まちづくり協議会

～作州城東朝市一周年記念フェスタ～

地域づくり活動



4月9日、城東まちづくり協議会が、東新町の観光駐車場で、作州城東朝市一周年記念フェスタを開催しました。地域の高齢者などの買い物支援と地域内の交流による活性化を目的に、第2・第4土曜日に開催しています。

この日は、地域の野菜生産者や飲食店、食品販売店、津山東高校の生徒などが出店。新鮮な野菜や豆腐、コーヒー、パウンドケーキ、ボン菓子などが売られたほか、作州忍者鶴山隊の手裏剣パフォーマンスなどが行われました。



城西まちづくり協議会

～津山城下町雛めぐり・和傘と竹灯籠のライトアップ～

地域づくり活動



3月3日（木）～4月3日（日）の期間中、中心商店街や城東地区、城西地区で「津山城下町雛めぐり」が行われました。

城西地区では、作州民芸館（津山まちの駅城西）と周辺で、津山ねり天神や大正時代のお雛さま、手づくりのつるし飾り、カラフル提灯などが飾られました。

津山城下町歴史館（津山市田町）では、花柄や渦巻き模様などの和傘約50本に照明を当てたり、住民らのワークショップで作成した竹灯籠約100本にLEDを点灯させたりする演出の取組を、城西まちづくり協議会が初めて企画。地域おこし協力隊の岡誠さんが、幻想的な演出準備に協力しました。

～城西・野菜と魚の市～

3月20日（日）、作州民芸館（津山まちの駅城西）で、野菜と魚の市が行われました。

地元生産者の野菜や新鮮な魚、おこわ、ぼた餅、お茶、お菓子などが販売されました。

